

吉田 稔 筆

令和7年 1月 No.151

● 編集・発行

柏市増尾地域ふるさと協議会  
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033

柏市増尾三丁目1番1号  
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211



みんな元気 住んで良かった この地域

# 謹賀新年



ダブルレインボー

新柏にて

## 会長 青柳 直樹

一年前の1月1日に能登地方を襲った能登半島地震、そして、その爪痕が残る中での9月の集中豪雨は痛ましく、土砂災害のそのすさまじい映像は、見るに忍びないものでした。増尾地域ふるさと協議会では、こうした災害に少しでも援助をと思い、柏市の職員が救助活動をした珠洲市に届くように、積立金の一部を日本赤十字社に託しました。

こうした、いつ起こるともわからない災害に備えるため、避難所を中心とした災害訓練など、重要施策として取組んでいきたいと考えます。それと同時に、私たち

人一人が身近なことから防災意識を高めていきましょう。

私は常に思います。二人以上の人がいれば組織です。人それぞれ意見は異なりますが、意見の違いがあってもどこまでも対話を重ねれば、解決策を見つけることができると信じております。ご協力をお願いいたします。



日本赤十字社に寄付を渡す青柳会長(左)

### ふるさと協議会からのお知らせ

2025年2月2日(日) 囲碁将棋大会

2025年3月2日(日) 芸能発表大会

2025年3月6日(木) 介護予防講座

※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。

### 受賞おめでとうございます

柏市市制施行70周年記念市制功労者として、ふるさと協議会の活動に15年以上携わってこられた、志水房夫さん、間宮節子さん、吉尾薫子さん、吉田成美さん(五十音順)が表彰されました。



# 文化祭 ■ 地域ふれあいのつどい

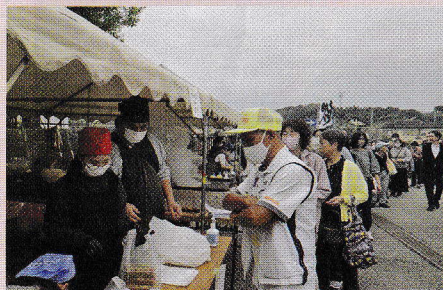
2024年10月26日（土）に「地域ふれあいのつどい」、10月26日（土）・27日（日）に「第42回文化祭」を開催しました。10月27日に総選挙の投票会場として体育室が使用されたため、「防災パネル展」は中止、「文化祭」は増尾近隣センター本館のみでの開催となりました。会場は縮小されましたが、力作揃いの作品が所狭しと展示され、鑑賞する人でにぎわいました。「地域ふれあいのつどい」は例年通り開催され、模擬店には行列ができました。



ゲームコーナーに夢中。釣れたかな（地域ふれあいのつどい）



つきたてのお餅は、毎年大人気（地域ふれあいのつどい）



フランクフルトの模擬店には長蛇の列（地域ふれあいのつどい）



柏南高校合唱部のアカペラ。歌うことの楽しさが笑顔になります（文化祭）

2階展示会場はたくさんの作品が並びました（文化祭）



## 敬老のつどい 242名が参加 地区社協部

2024年9月15日（日）、柏市立土中学校体育館において、地区社協部主催の「敬老のつどい」を開催致しました。今年も猛暑となり、土小学校と増尾近隣センターから冷風機をお借りして暑さ対策をしました。

9月15日現在、柏市には100歳以上の方が200名（男性25名、女性175名）、その中で増尾地域には女性7名がいらっしゃいます。当日は75歳以上の方242名の参加があり、最高年齢は女性97歳（お二人）、男性94歳でした。参加者全員にお茶と記念品をお渡しして、ご長寿のお祝いをしました。

式典では柏市長、柏市議会議長、柏市社会福祉協議会会長よりご祝辞をいただき、来賓の皆様のご紹介をさせ

ていただきました。その後、アマチュア落語家の「ここあ」さんによる落語に暑さを忘れて笑い、土中学校吹奏楽部による演奏、休憩を挟んでリフレッシュ体操、県立柏南高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏を楽しみ、熱中症で倒れる方もなく無事終わることができました。

今年は猛暑の中での開催でしたが、来年は土中学校体育館にもエアコンが完備される予定です。来年もお待ちしています。  
地区社協部 伊藤 薫



土中学校吹奏楽部のやさしい音色に耳を傾けます

## ちいき探検ウォーキング 四季折々に行きたいビオトープ 文化体育部

2024年11月17日(日)、文化体育部主催「ちいき探検ウォーキング」を開催しました。

午前9時、増尾近隣センター前に参加者17名と市民活動支援課地域コーディネーター・増尾探検隊・文化体育部から、合わせて40名が集合し出発しました。

少林寺で一石五輪塔と歌人江口章子の歌碑を見学してから名戸ヶ谷の森へ。初めて訪れましたが、森の中は歩きやすい歩道になっていました。新柏コミュニティガーデンを抜け、次に目指したのは「回生の里」に隣接している名戸ヶ谷ビオトープ。「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」が管理運営をしている約4,400㎡のビオトープです。多様な生き物の生活空間であるとともに、市民が

身近な自然に触れて生き物との共生を考えたり、地域の学校の環境教育の場として活用されています。

名戸ヶ谷記念病院脇の県道沿いにある馬頭観音、100m程歩いた所にある竹林の中の木村家長屋門を見学し、無事に増尾近隣センターに戻りました。参加者には焼きたての焼き芋とおにぎりを配りました。

私は文化体育部員として初めて参加しましたが、いろいろな人と話をしながらの15000歩のウォーキングは貴重な体験でした。 文化体育部 川城 恵子



ビオトープにはどんな生き物がワクワクします

## 健康教室 ボッチャとモルックを体験 文化体育部

2024年10月6日(日)増尾近隣センターにおいて、文化体育部主催のニュースポーツを楽しむ「健康教室」を開催しました

まずひとつ目は「ボッチャ」です。パラリンピックの正式種目でもあり、障がいの有無にかかわらず、全ての人が参加しやすいスポーツです。ルールがシンプルのため、子どもから高齢者まで楽しめます。ふたつ目の「モルック」は、フィンランドの伝統的なゲームを基に開発されたスポーツです。22.5cmの木の棒を投げて、12本の木のピンを倒して採点し、先に50点ピッタリになったチームが勝ち。もし50点を超えると減点されて25点になってしまう、少し頭脳戦の要素もあるゲームです。「ボッチャ」と「モルック」どちらもチーム戦で、失敗してもうまくいっても笑いが絶えません。



白い的玉に近いのはどっち (ボッチャ)

参加者が6名と少なかったので、ご指導いただいた柏市スポーツ推進委員やスタッフの方々にも加わっていただき楽しく対戦できました。

文化体育部

小林 みつえ

## ペレニアル 花 倶楽部 大人チックなクリスマスの寄せ植え

2024年11月19日(火)増尾近隣センターにおいて、「花を楽しむ教室」主宰の山口まり先生を講師にお迎えし、23名の参加者が文化体育部主催の「園芸講座」を受講しました。

今回のコンセプトは「大人可愛いシックなクリスマスを演出」。主役の植物はシックな白のポインセチア、脇役の植物も主役の色味をサポートする白いガーデンシクラメンにし、器もアンティークな雰囲気のものを使用しました。寄せ植えした植物は、①ポインセチア ②ガーデンシクラメン ③クッションブッシュ (プラティナ) ④斑入りノシラン (ミスキャンタス) ⑤ハボタン



鉢の中の花のレイアウトは?

⑥アイビーの6種類。先生から各植物の特性と注意事項について説明があり、デモンストラーションの後、各自寄せ植えに挑戦しました。水やりなど管理次第では3月頃まで楽しめるとのこと。

ペレニアル花倶楽部

畔蒜 澄子

# ☕ コーヒー教室開催 ☕

## ☕ 増尾近隣センター 所長 松井 博明 ☕

2024年11月10日(日) 増尾近隣センターにおいて、増尾近隣センター主催「コーヒー教室&地域交流会」を開催し、12名の参加がありました。

2024年4月に着任して、ふるさと協議会の皆様と共に活動する中で感じたことは、地域の発展のため懸命に活動されていることです。しかし、話をよく聞いていく中で、中心的に活動をしている方々が高齢化し、次の世代に継承していくことが課題であると感じました。そこで、コーヒー教室を切り口に若い世代に集まっていただき、交流をしていこうと、この会を企画しました。

コーヒー教室の講師は、柏ふるさと公園前で30年間「ストリームヴァレー」を営業されている池田雅之さんです。若いころに飲んだコーヒーの味が忘れられず講師を依頼したところ、快諾してくださり、第1部ではストリームヴァレー流の淹れ方を学び、参加者全員が大満足しました。極意を知りたい方は、ぜひお店に足を運んでください。

第2部はマスターに淹れていただいたおいしいコーヒーを飲みながら、地域の課題を一緒に考えていこうと、参加者とふるさと協議会役員との交流会を行いました。皆さん、積極的に意見を出してくださり、実りある会となりました。

情報発信方法についてなど、いただいた意見をしっかりと受け止め、地域発展のため、増尾地域ふるさと協議会と協力して行動していきます。



池田さん(手前右の指導)「お湯はゆつくり細く」

## 地域の中での助け合い

### 地区社協部

2024年8月29日(木) 増尾近隣センターにおいて、地区社協部主催「介護保険&地域の中での助け合い」を開催しました。まず、大手介護事業所の介護福祉士の方に、現場で関わっている専門職から見た介護保険の仕組

みや利用の仕方について、分かりやすく説明をしていただきました。介護保険の申請方法や注意点、認定後の利用料金やサービスの内容、介護保険でできること・できないこと、施設の利用と在宅での利用の違いなど実際の事例を交えて詳しく教えていただき、自立した生活を送ることの大切さについても学びました。

もう一つのテーマ「地域の中での助け合い」の中では、生活支援や各サロンの活動にボランティアとして携わることが、自らのフレイル予防につながることを教えていただきました。参加された23名の皆さんは熱心に耳を傾け、介護保険の仕組みや利用方法、訪問介護ヘルパーさんの仕事内容や介護の事例等に、多くの関心と興味を持たれたようです。

介護保険についてのご相談や問い合わせは**柏南部第2 包括支援センター (04-7170-9300)**にて無料で受け付けています。

地区社協部では、日常生活で困っている方の支援や地域のサロン活動をしています。ボランティアの高齢化により人員が不足しています。地域の方々のために何か手助けをしたいと思う方は**伊藤 (04-7176-3314)**までご連絡ください。地区社協部 伊藤 薫

## 中原小学校創立50周年にあたって

### 柏市立中原小学校 校長 堀内 厚子

2024年11月15日(金)に「中原小学校創立50周年記念式典」を滞りなく挙行することができました。創立以来、本校を支えていただいた保護者や地域の皆様に改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

本校は昭和50年4月、光ヶ丘小学校から分離し、新入生172名、転入生938名で中原小学校として歩み始めました。開校当初は、校舎と整備不十分な校庭のみという環境でしたが、校庭の整地に始まり、学校の木々も保護者や地域の方々、教職員の手によってひとつひとつ整備してきたという歴史があります。「中原小学校の子どもたちのために」という保護者や地域の方々の温かいご協力やご支援は50年経った今でも変わらず続いています。中原小学校は人に恵まれていることも魅力の一つであり、誇れる宝物でもあります。たくさんの方々に見守っていただきながら、8000名もの中原っ子がここで学び、活躍し、中原小学校の歴史を築いてきました。

50周年という節目を機に、家庭や地域とのつながりを一層深め、良き伝統をしっかりと引き継ぎながら、中原っ子と共に地域に誇れる学校を創っていきます。未来に向かって歩み続ける中原っ子、中原小学校への変わらぬご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。